

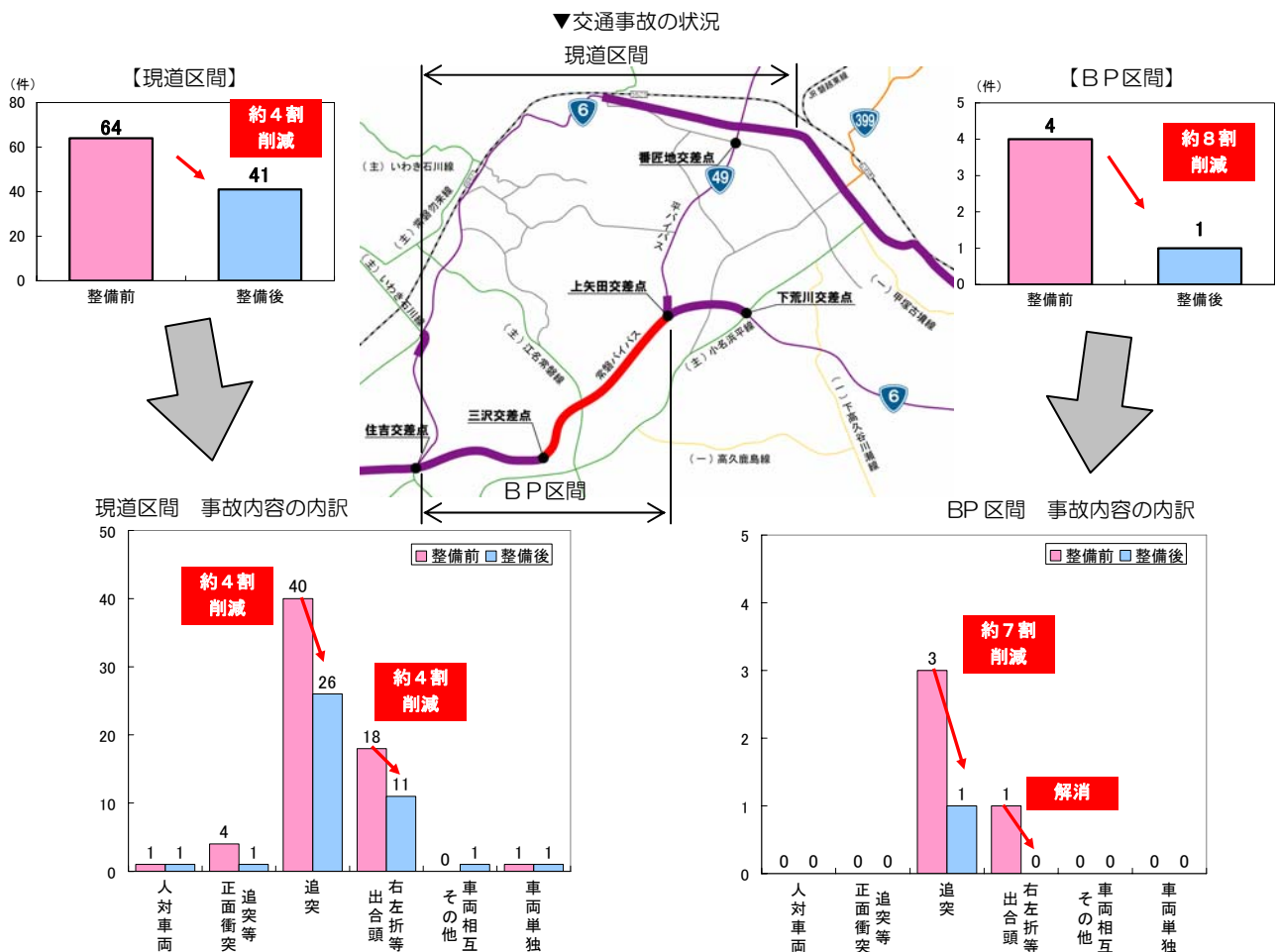
整備効果① 渋滞が解消

- ・2車線時に発生していた上矢田交差点の夕方ピーク時(上り)の約800mの渋滞が4車線化により解消



整備効果② 交通事故が減少

- ・住吉交差点～上矢田交差点間の交通事故件数が約8割減少 (4 → 1件)
- ・並行する国道6号(現道)では、交通事故件数が約4割減少 (64 → 41件)
- ・特に、最も多く発生していた追突事故が約4~7割削減
(BP区間: 3 → 1件、現道区間: 40 → 26件)



※【整備前】H18.3.19～H18.8.31 まで発生した事故件数
【整備後】H19.3.19～H19.8.31 まで発生した事故件数

整備効果⑤ 救急搬送の迅速性・安定性が向上

- ・小名浜・勿来地区から磐城共立病院を始めとする平・内郷地区病院への搬送件数は、年間約 1,700 件（管内全搬送件数の約 1 割）で、当該区間は救急搬送上の重要な区間
- ・当該区間が供用したことで、当該区間の利用回数が増加
- ・「追い越しが容易になること」や「加減速による搬送患者への影響が軽減」など、迅速かつ安定した救急搬送が可能に

▼当該区間に係る救急搬送の状況



- 整備される前のこの区間では、渋滞になると追い越しができず、サイレンを止めて緊急走行ができないこともありました。
- また、国道 6 号現道区間は、信号や交差点があり、通過するたびに加減速をするため、搬送している患者さんの容態に負担となることもありました。
- 今回 4 車線化したことで、追い越しが可能になることや、患者さんへの影響が少なくなり、以前より敏速で安定した救急搬送が可能になっています。

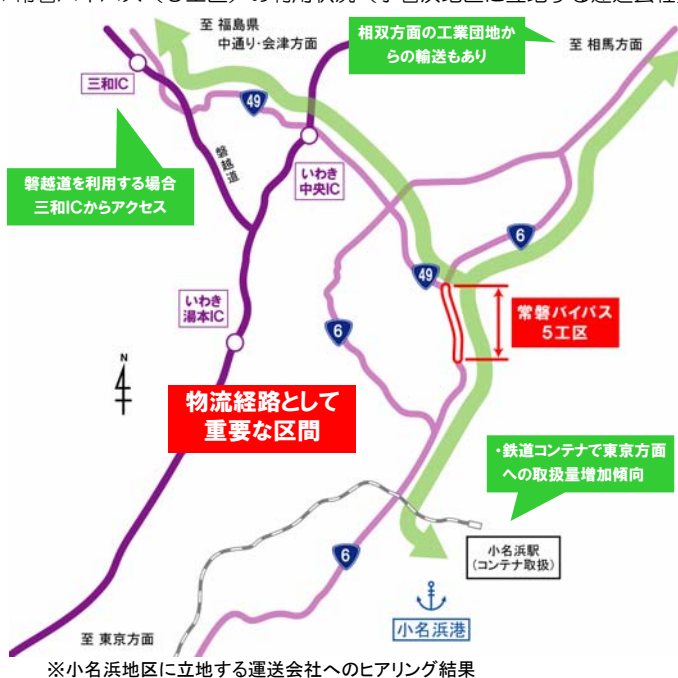


いわき市消防本部の声

整備効果⑥ 物流の運行管理や安全性が改善

- ・常磐バイパス（5工区）は、物流経路上の要として重要な区間
- ・渋滞で時間が読めないこともあったが、顧客の要望への対応が容易に
- ・上矢田交差点合流部における「割り込むドライバーとのトラブル」や「追従者による幅寄せ」などによる事故の危険性や精神的な負担が軽減

▼常磐バイパス（5工区）の利用状況（小名浜地区に立地する運送会社）



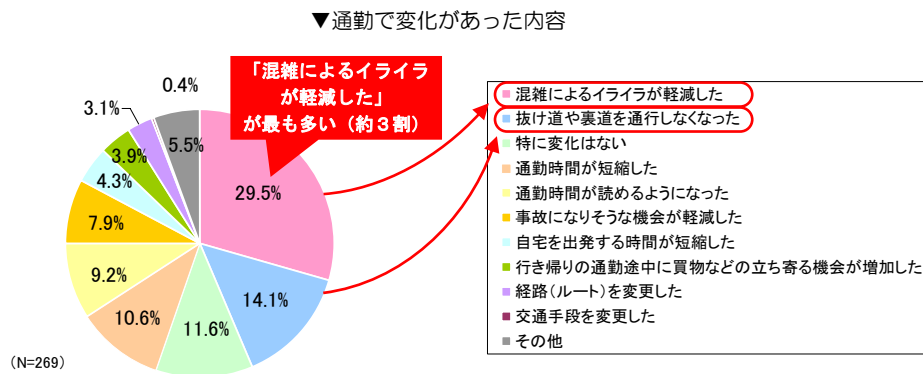
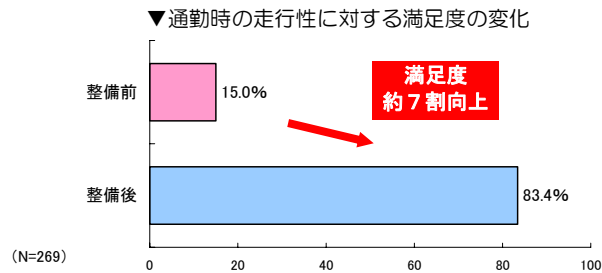
- 以前は、渋滞になると時間が読めなくなり、顧客への状況説明に苦労したこともありました。
- 車線数が減少する箇所で割り込みをされることも多く、法定速度で運行するため、後続車両から幅寄せされるなど、事故やトラブルへの心配が絶えませんでした。
- 4 車線化したことで、ジャストインタイムといった顧客への要望に応えることができ、ドライバー自身のペースで運転が可能になるなど、精神的な負担も軽くなっています。



小名浜地区運送会社の声

整備効果⑦ 通勤時の走行性が向上

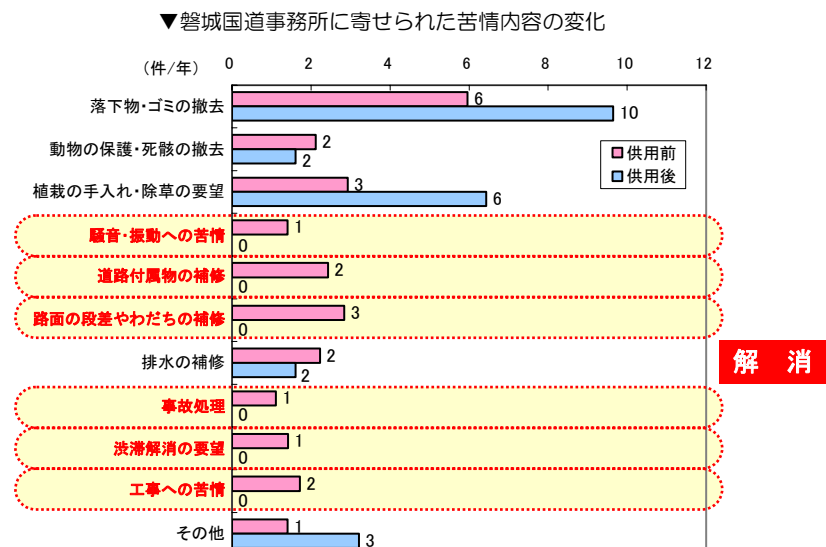
- ・通勤時の走行性に対する満足度が約7割向上（15.0% → 83.4%）
- ・特に「混雑によるイライラが軽減した」や「抜け道や裏道を通行しなくなった」などの回答が多く見られた（10%以上）



※平市街地や常磐鹿島、好間中核工業団地への通勤者等を対象にしたアンケート調査結果

整備効果⑧ 利用者からの苦情・不満が改善

- ・磐城国道事務所に寄せられた常磐バイパス5工区に関する苦情件数が約1割減少（26件/年 → 23件/年）
- ・特に、「騒音・振動」「事故処理」「渋滞」に対する苦情が解消
- ・一方で「落下物・ゴミの撤去」や「植栽の手入れ・除草」に対する要望件数が増えており、今後当該区間のパトロールを強化し、改善を図る予定



※H14.4.1～H19.10.31の間に磐城国道事務所に寄せられたご意見をもとに集計